

人間発達学部
SHOHGENJI Takahiro
PROFILE
職名
人間発達学部 児童教育学科教授
学歴
岐阜大学大学院地域科学研究科修士課程修了（2006）
学位
修士（地域科学）（岐阜大学、2006）
所属学会
日本理科教育学会、日本物理教育学会、日本教育方法学会、日本環境学会、子どもと自然学会
専門分野
理科教育学、環境教育論

## 生源寺 孝浩

しょうげんじ たかひろ

**研究課題1 ● 理科授業の科学化**

**研究課題2 ● 子どもの成長発達に授業者としてのほたらきかけはどうか**

**研究課題3 ● 教師の資質はどうか**—とくに自然科学教育において—

### 業績

#### 【著書】

『自然科学と教育—理科ではだめだよ—』／『「やじろべえ」で科学する芽を—子どものわかり方によりそう自然の学習をつくる—』／創風社、2001年7月、共著。

『授業づくりのための理科教育法』／「1章2節 光がないと植物はどうなるの?」、  
「2章4節 本物を持ち込む授業、2章5節 仮説を持って、たっぷり実験」、  
「2章6節 たっぷり討論、実験で検証」、  
「3章1節 子どものわかり方に寄り添う授業を作る」／東京書籍、2004年5月、共著。

『新しい理科の教科書—親子で開く科学のとびら 小学6年』／「1章4節 ヒトのからだ」、  
「2章2節 生きものの食べる食べられるつながり③④」  
「5章 音と振動」／文—総合出版、2004年7月、共編著。

『教育基本法と科学教育—子どもと教育基本法を守るために—』／「第5章 教育基本法と自然科学教育」／創風社、2004年3月、共著。

『たのしくわかる授業実践集3年』／「太陽と光—太陽は熱と光で—」／民衆社、2006年4月、共著。

『たのしくわかる授業実践集4年』／「春の自然（四季）」、「夏の自然」、「電気のはたらき」、  
「ものの温度とかさ」、「もののあたたまりかた」／民衆社、2006年4月、共著。

『たのしくわかる授業実践集5年』／「天秤とてこ」／民衆社、2006年4月、共著。

『たのしくわかる授業実践集6年』／「生物と環境、電流と磁石」／民衆社、2006年4月、共著。

#### 【学術論文】

科教協全国研究会2009報告（1）渡辺報告から学んだこと／子どもが量概念を形成するのは生活の中にその量を見出し、その量を使う生活をしたときだ—1—／『科教協ニュース』2009年3月号、No.605、2009年3月15日。

科教協全国研究会2009報告（2）渡辺報告から学んだこと／「算数って計算ができて文章題ができる世界だけではないことが子どもに伝わっていくのだな」と／『科教協ニュース』2009年4月号、No.606、2009年4月15日。

「ある小学校5年生の理科の授業から見た理科教育と学力」／『日本の科学者』41巻4号（通巻459号）、2006年4月、単著。

「小6『電流のはたらき』—電磁石は磁石と『成り磁石』の相互関係を—」／『理科教室』50巻1号625号、2007年1月、単著。

「小学校で『静力学の基礎』を—小学生は大人が思うより賢いと知るべし—」／『理科教室』第51巻第2号、2008年2月、単著。

「小学5年生「力の学習」〔1〕—授業実践のテープ起こし1～13時間目—」／『子どもと自然学会誌10』第4巻第1号、2008年8月、単著。

「移行期にこんな授業をしよう「振り子（小5）」」／『理科教室』第51巻第11号、2008年11月、単著。

「てこの学習を基本から考える」／日本標準『理科教室』2010年11月号、2011年11月1日、共著。

「物質学習の基礎となる『重さ』の学習とは—3年生の大事な学習を、その後の学習で使い、定着と理解の深化をはかろう—」／科学教育研究協議会『科教協ニュース』2010年12月号（624号）、2010年12月15日、単著。

#### 【国内学会発表】

「理科教育の学力と授業づくり」／日本教育方法学会第40回大会（和光大学）、2004年10月、共著。

「小学校理科におけるものづくりの認識論的考察—その1—「やじろべえ」の授業実践を例に—」／子どもと自然学会第10回全国研究大会（北海道教育大学釧路校）、2008年8月、単著。

「個（人間性）の確立にとって理科教育は何をなすべきか—子どもは大人が思うよりもっと賢い—小学校5年「静力学」を例に—」／日本科学者会議第17回総合学術研究集会報告、2008年11月、単著。

—枚授業書＝「のぼりおり」づくりに取り組んで／子どもと自然学会第12回京都山科大会、2009年12月6日、京都橘大学。

「『物と重さ』の学習の不十分さをどこでどう補うか」／子どもと自然学会第14回大会、2010年11月21日、単独。

「『物と重さ』の学習の不十分さをどこでどう補うか」／第48回近畿・東海教育研究サークル合同研究集会理科分科会、2010年11月28日、単独。

「『ものとその重さ』の学習を小学校高学年でどう担保するか—小3で中途半端に終わらされる『物と重さ』の尻ぬぐいを考える—」／第57回科学教育研究協議会全国大会小学校高学年分科会、2010年8月6日、単独。

#### 【国際学会発表】

「Parallel Workshops Session No.1 “How to Make the Primary-Middle School Science Program: using hands-on useful experiment.”」／第八屆中日科技創新教育研修會 暨 第三屆國際科學教師高級研修班（The 8th Sino-Japan Symposium the 3th international Workshop on Innovative Science Education）、2010年8月18日、共同。

#### 【調査・報告】

<報告>「小学校で進化をどう扱っているか。私の場合。—小学校6年生理科『人間のからだ』の学習を中心に—」／（財）日本モンキーセンター年報平成14年度、2003年9月、単著。

「見えないものをみる＝見えないものそれは『人間の人間らしさ・直立二足歩行』」／科学の鉄人—サイエンスフォーラム2005—、主催：科学教育フォーラム実行委員会（東京都科学技術館）、2005年2月、単著。

#### 【学術講演】

「『やじろべえ』で科学する芽を—子どものわかり方に寄りそう自然の学習をつくる—」／西日本私立小学校理科部半日研修会講演会（兵庫県芦屋市：甲南小学校）2008年11月。

物の重さ、体積・質量・量概念の考え方シンポジウム&ワークショップ 理科好きの子どもを育てる、伸ばすには—家庭・地域・学校間の連携を目指して—／2009年3月14日～15日、新潟大学。

小学校5年・6年季節と生き物の学習を考える—『植物のからだとくらし』を手がかりにして／リカレント講座「小学校教師のための教育実践講座2009」、2009年7月25日。

「『ものとその重さ』をどう教えるか」②—理科の立場から／リカレント講座「小学校教師のための教育実践講座2009」、2009年11月14日。

「『物と重さ』の学習の不十分さをどこでどう補うか」／科学教育研究協議会2011年全国研究会、シンポジウム、2011年1月6日。

#### 【その他】

第1回（2009.6.14）・第2回（2009.7.5）・第3回（2009.10.12）貸し出し用学習素材の開発のための研究会議／和歌山県太地町 太地町くじらの博物館／中江環（太地町くじらの博物館）・三上周治（奈良教育大学付属小学校）と共同研究。

貸出用学習素材の開発のための模擬授業及び研究会アドバイザー／太地町立太地小学校、2009年10月26日。